



BSNドローン映像
秋麗 棚田風景 ～長岡市山古志地区～

BSN

第 **89** 期

中間事業報告書

株式会社新潟放送 証券コード:9408

2018. 4. 1 ▶ 2018. 9. 30



株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第 89 期中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

中間配当につきましては、1 株につき 3 円 75 銭とさせていただきました。当社は、配当方針として、安定配当を旨としております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 12 月

代表取締役社長

佐藤 隆夫

事業の経過及び成果

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで)

当上半期のわが国経済は、相次ぐ自然災害による消費や生産等への影響がリスクとして認識されましたが、企業収益や雇用環境の改善など明るい兆しが見られました。

その一方で、米国の保護主義的な通商政策による世界経済の下振れが懸念されており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社はラジオ・テレビ番組のさらなる充実を図るとともに、放送以外の部門におきましても、新規事業の創設やイベントの拡充を進め、広告主のニーズに即した積極的な営業活動を推し進め収益の確保に傾注いたしました。

この結果、当上半期の営業収益は 32 億 9 千 2 百万円と、前年同期比 99.6%、1 千 2 百万円の減収となりました。経常利益は前年同期比 206.1%の 2 億 2 千 2 百万円となりました。最終の中間純利益は、1 億 9 千 2 百万円と、前年同期比 191.5%となりました。

ラジオ部門

新規レギュラースポンサーの獲得に重点を置いたことでスポット収入と制作収入が前年同期を上回りました。ラジオ部門全体の売り上げは前年同期比 100.9%の 3 億 5 千 9 百万円となりました。

番組につきましては、日本民間放送連盟賞 ラジオ生ワイド番組部門で「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」(月曜～木曜)「大人の自由研究 ものもらいの呼び方」が優秀賞に輝きました。レギュラー番組で、高い評価を受け、制作スタッフもこれを励みに、更なる番組の充実に取り組んでいます。



近藤丈靖の独占ごきげんアワー

テレビ部門

テレビ収入におきましては、収益の柱であるスポット広告市況が県外で振るわず、前年同期比99.8%、24億1千万円となりました。

番組につきましては、土曜お昼の生放送 土曜ランチTV「なじラテ。」は2年目に入り、番組コメンテーターに新たなメンバーを加えました。地元密着≪新潟のイイね！にお邪魔する≫をコンセプトに県内各地を取材し、レギュラーコーナーのお茶の間への定着を図っています。

ゴールデンタイムのレギュラー番組「水曜見ナイト」では、去年に続き8月に、長岡花火2時間スペシャルを放送しました。今年は打ち上げから6日後という放送日でしたが、ヘリコプターからの空撮など多角的な映像を織り交ぜて放送、全局トップとなる17.7%という高視聴率を獲得しました。

県内ニュースをまとめてお伝えする「BSN NEWS ゆうなび」（月曜～金曜）では、3年目となり、工藤淳之助キャスターの新パートナーとして植田麻瑚キャスターを起用し、タイムリーなニュースを分かりやすく届けることに努めています。ニュース取材では、5月に起きた女兒殺害事件でのスクープが評価され、TBSネットワーク各局から選出されるJNN月間賞を4月に続き連続受賞しました。また、日本民間放送連盟賞 テレビ報道部門で「Aの衝撃～コメ王国の正体」が優秀賞を受賞しました。ブランド米である魚沼コシヒカリが、食味ランキング特Aランクから陥落したニュースから、コメ流通の現場を掘り下げて取材したことが高い評価を受けました。



なじラテ。(毎週土曜日 放送)



水曜見ナイト 長岡花火スペシャル



BSN NEWS ゆうなび
工藤淳之介・植田麻瑚 両キャスター



報道特別番組 Aの衝撃～コメ王国の正体



その他の部門

当上半期は、今年新潟での唯一のプロ野球公式戦「横浜 DeNA vs 読売ジャイアンツ」を新潟市のハードオフエコスタジアム新潟で開催しました。新潟在住アイドル・ユニット Negicco の始球式、キッズ選手へのボールプレゼントなどのセレモニーも盛り上がり、公式発表 2 万 5 千人の入場者が熱戦に大きな歓声を上げました。また、文化催事では、TBS が 20 年以上にわたって取り組んできたアンデスプロジェクトの集大成となる「古代アンデス文明展」を新潟県立万代島美術館で開催しました。精巧な織物やかわいい土器などとともに、ミイラも展示し、注目を集め、期間中 4 万人余りが入場しました。

その他の部門の収入は前年同期比 97.9% の 5 億 2 千 2 百万円となりました。



プロ野球公式戦 横浜 DeNA vs 読売ジャイアンツ
(ハードオフエコスタジアム新潟)



古代アンデス文明展
(新潟県立万代島美術館)

VR・ドローン撮影など新規映像制作事業を展開

フルハイビジョンを超えるキメ細かな 4K・8K といった超高精細映像の時代を前に、映像の高度化への対応が不可欠となっている中、BSN では、VR (バーチャルリアリティ) の撮影事業をスタートさせ、VR アプリを立ち上げ、撮影から編集までを自社で行える態勢を整えました。また、空からの映像撮影に欠かせないドローンについても、社員がオペレーターライセンスを取得し、番組や CM での活用を図り、10 月からは新潟県内の名所や風景をドローンで記録し、放送する「そらなび ～にいがたドローン紀行～」(毎週土曜) をレギュラー番組として放送しています。



空中撮影 ドローン

財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当中間期末	前会計年度期末
	平成30年9月30日	平成30年3月31日
(資産の部)		
流動資産	11,198,899	11,300,775
固定資産	12,595,636	12,531,420
有形固定資産	6,819,726	7,147,702
無形固定資産	269,360	173,843
投資その他の資産	5,506,548	5,209,874
資産合計	23,794,535	23,832,196
(負債の部)		
流動負債	4,667,972	4,831,169
固定負債	1,407,513	1,645,699
負債合計	6,075,485	6,476,869
(純資産の部)		
株主資本	15,062,452	14,854,778
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	14,757,365	14,549,690
自己株式	△663	△663
その他の包括利益累計額	850,469	731,550
非支配株主持分	1,806,127	1,768,998
純資産合計	17,719,049	17,355,327
負債・純資産合計	23,794,535	23,832,196

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当期	前期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,583	1,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278	△231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△517	△479
現金及び現金同等物の増加額	786	599
現金及び現金同等物の期首残高	5,632	4,692
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,419	5,291

■ 中間連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	9,313,365	8,921,819
売上原価	6,782,018	6,471,007
売上総利益	2,531,346	2,450,811
販売費及び一般管理費	2,179,739	2,231,329
営業利益	351,607	219,482
営業外収益	48,607	59,827
営業外費用	20,354	24,832
経常利益	379,860	254,478
特別利益	-	7
特別損失	906	2,535
税金等調整前中間純利益	378,953	251,949
法人税等	94,257	54,498
中間純利益	284,696	197,450
非支配株主に帰属する中間純利益	47,026	34,908
親会社株主に帰属する中間純利益	237,669	162,542

■ 個別 ハイライト ■ (単位：百万円)

科 目	当中間期末	前期末
	平成30年9月30日	平成30年3月31日
総資産	13,160	13,116
純資産	11,869	11,611

科 目	当中間期	前中間期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	3,292	3,305
営業利益	162	58
経常利益	222	107
中間純利益	192	100



■ 重要な子会社の状況 ■

会社名	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)BSNウェブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
(株)BSNアイネット	200	65.5	情報処理サービス及びパソコン機器の販売
(株)ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売、 及びシステム建設並びに保守
(株)ITスクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援及び情報システム導入 調達支援

B S Nグループ (◇は連結対象子会社)

(株)新潟放送

◇(株)BSNウェブ

◇(株)BSNアイネット

◇(株)ビーアイテック

◇(株)ITスクエア

(株)エム・エス・シー

龍越ソフト(株)

(株)エヌ・ティ・エス

(株)日本ファシリティ

(株)グローバルネットコア

株式の概況 (平成30年9月30日現在)

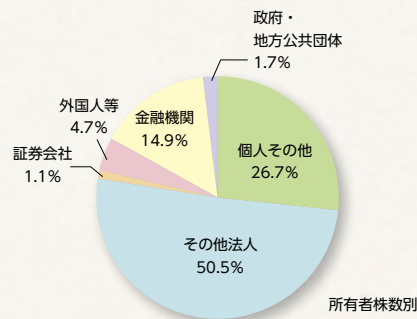
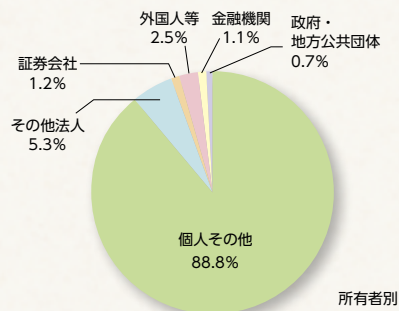
- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式 958 株を含む)
- ◆ 株主数 1,130 名

◆ 大株主 (上位 10 名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.8 %
越後交通株式会社	579,050	9.7
株式会社東京放送ホールディングス	485,000	8.1
株式会社第四銀行	299,600	5.0
第四リース株式会社	204,000	3.4
株式会社光通信	159,800	2.7
損害保険ジャパン日本興亜(株)	132,000	2.2
蒲生逸郎	131,100	2.2
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.8

※持株比率は、自己株式を控除、小数点第2位を四捨五入して計算しております。

株式の分布状況 (平成30年9月30日現在)



会社の沿革

昭和27年10月14日	会社創立「株式会社ラジオ新潟」 (資本金5,000万円)
12月24日	ラジオ本放送開始
29年 5月 1日	増資2,000万円 (ラジオ設備資金) 資本金7,000万円
33年 2月17日	増資1,400万円 (株式配当) 資本金8,400万円
3月25日	増資11,600万円 (テレビ設備資金) 資本金20,000万円
12月25日	アナログテレビ本放送開始
36年 3月 1日	商号「株式会社ラジオ新潟」を 「株式会社新潟放送」に変更
38年 9月 2日	増資10,000万円 (BSN産業会館設備資金) 資本金3億円
39年10月 1日	テレビジョンカラー放送開始
44年 4月15日	東京店頭売買銘柄に登録
49年 8月30日	決算期を毎年3月31日とする
平成 5年 8月20日	500円額面株式1株を50円額面 株式10株に分割し、1単位の株式 数を100株から1,000株に変更
11年 8月 2日	1単位の株式数を1,000株から 100株に変更
13年10月 1日	1単位の株式数100株を1単元の 株式数100株に変更
16年12月13日	ジャスダック証券取引所(現 東京証 券取引所ジャスダック市場)に変更
18年 4月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
23年 7月24日	テレビのアナログ放送終了し、 デジタル放送に完全移行
27年11月 1日	ラジオFM補完放送開始

役員

(平成30年9月30日現在)

代表取締役会長	竹石松次
代表取締役社長	佐藤隆夫
常務取締役	島田好久
取締役	大竹正敏
取締役	金田博幸
取締役	小林強
取締役	小原弘志
取締役	梅津雅之
取締役	小田敏三
取締役	並木富士雄
取締役	龍宝正峰
常勤監査役	五十嵐幹史
監査役	高橋道映
監査役	中山輝也
監査役	瀬賀弥平
顧問	田中真紀子
特別顧問	牧野庄三



BSN



■ 本 社

〒951-8655
新潟市中央区川岸町3-18
tel 025(267)4111

■ 事業局

〒950-8548
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ
(事業部) tel 025(290)7844

■ 長岡支社

〒940-0082
長岡市千歳1-3-43
メディアぶらっと
tel 0258(35)7531

■ 上越支社

〒943-0805
上越市木田1-2-4
メディアフロント
tel 025(524)2115

■ 東京支社

〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-1
南海東京ビル
tel 03(3543)5001

■ 大阪支社

〒550-0002
大阪市西区江戸堀1-9-1
肥後橋センタービル
tel 06(6443)2700